

平成29年度 さいたま市立三橋中学校 学校だより



架け橋

第1号

(平成29年4月10日発行)

ホームページ: <http://mihashi-j.saitama-city.ed.jp/>

E-mail: mihashi-j@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 : ゆたかに・たくましく・かしこく

温かさと感動

校長 永岡 良規

4月1日付けで、渡部 隆男前校長先生の後を受け、さいたま市立三橋中学校の校長に就任いたしました永岡 良規（ながおか よしのり）と申します。どうぞ、よろしくお願いたします。

本日、希望に胸をふくらませた143名の新入生を迎え、いよいよ三橋中学校の平成29年度がスタートしました。今年度は新たに特別支援学級1学級を設置し、生徒493名、15学級でのスタートとなりました。

本日の始業式、入学式では、中学校生活の中で達成して欲しいこととして、生徒たちに次の2つのことについて話をしました。

一つ目は「温かさを身に付けてほしい」ということです。

学校はたくさんの人と関わりをもちながら生活する場です。クラスや学年の仲間、先輩、先生方、保護者の方々、地域の方々等、本当に多くの人と人との関わりの中で学校生活がなりたっています。人と人が一緒に生活したり、協力したりするとき大切にしたいことが人への温かさです。相手の言うことをよく聴いたり、相手の立場になって考えたり、一人ぼっちでいる子にそっと声をかけたりすることが大切です。壁にぶつかって困っている人や悲しい思いをしている人が周りの人の温かさを感じ、少しでも元気になれる、笑顔になれるできれば、学校全体が温かさにあふれる学校になれると思います。本校の学校教育目標の中の「ゆたかに」とはそんな側面をもっていると思います。

二つ目は「たくさんの感動を味わってほしい」ということです。

学校には多くの感動があります。授業の中で新しい気付きと出会ったときの喜び、クラスメイトと心をつなげて取り組んだ行事での歓喜、部活動で厳しい練習を乗り越え勝利したときの達成感、友の何気ない気遣いにふれ、やさしい気持ちになったとき等、それぞれの感動の大きさには違いがあるかもしれませんが、どの感動も自分の人生を支えてくれる貴重な財産となるはずであり、心の豊かさにつながるものです。しかし、それらの感動もただ待っているだけでは味わうことはできません。自ら行動を起こし、粘り強く取り組むことが大切です。新入生のみなさんには、3年間の学校生活を通して、自ら様々なことに果敢に挑戦し、多くの心にのこる感動という宝物に出会ってほしいと思います。

創立70年という輝かしい伝統を受け継ぎ、諸先輩方、保護者の皆様、地域の皆様方の本校に対する熱い思いと期待に応えるべく、教職員一同、力を合わせて、日々の教育活動に取り組んでまいります。皆様方には、今年度も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

